唐湊果樹園の業務内容

教育（農場実習）

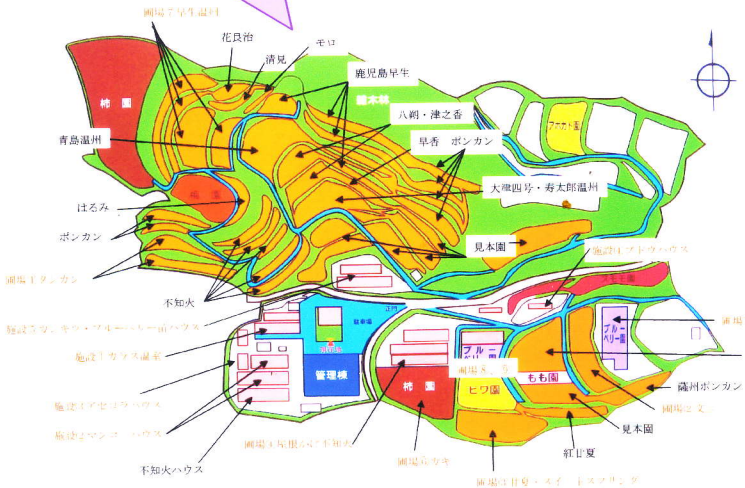
区分	実習対象	実習期間	学生数	実習方法
集中実習	生物生産学科1年生	9、2月の年2回（集中3日間）	約50名	
	生物生産学科植物生産学病害虫制御コース2年（4期）	8月（集中3日間）	約30名	
	園芸生産学コース3年（5期）	2月（集中3日間）		
	生物資源化学科食糧生産化学コース3年生	8月（集中3日間）	約20名	
終日実習	生物生産学科植物生産学コース	2年（4期）～3年（5期）の約1年間　毎週1回（月曜日）	約40名	学生を2班に分け、それぞれ農場4施設で実習を行う。
半日実習	生物環境学科環境システム学コース			
	生産環境工学コース	2年（4期）～3年（5期）の約1年間　毎週金曜日の午後	約58名	3コースの学生を2班に分け、学内農場と唐湊果樹園で1班ずつ実習を行う。
	生物生産学科農業経営経済学コース			

区分	実習内容		実施時期
全般	園内の草生管理（刈り払い機を用いた草刈り、散水等）		年3時すべて
	防風樹管理		
カンキツ	ミカンハダニ・カメムシ類防除		5月中旬から6月上旬
	摘蕾		6月上旬から8月上旬
	ミカンハダニ・カメムシ類防除		8月上旬
	施肥	見肥施用	6月中下旬
		秋肥施用	10月下旬から11月上旬
		寒肥施用	2月中下旬
	堆肥施用		1月
	収穫	早生温州収穫	11月中下旬
		普通温州収穫	12月中旬
		中晩柑収穫	1月下旬、2月下旬
	不知火袋かけまたはビニルかけ		12月
ビワ	ケシカメキリムシ防除		6月
落葉果樹	堆肥施用		9月
	モモの摘果・袋かけ		5月中旬
	カキの摘果		7月中下旬
	カキの収穫、「平核無」の脱渋		10月上旬～11月中旬
	カキの剪定		2月中下旬
	ブルーベリーの誘引		3月
	ブルーベリーのミイラ果除去		8月上旬
果樹苗	カンキツ、ビワの接ぎ木		1月
	接ぎ木苗育成温室搬入		1月～2月中旬
	果樹苗の鉢上げ、植替え、除草、施肥		年数回

主な取り組みの紹介

内容	目的
1 微生物農薬を用いたアメダンカミキリムシ防除	これまでは殺虫剤を樹幹の地際部に塗布してきたが、実習高度化の一環として微生物農薬を用いた防除法に変更
2 カンキツの選果・果実糖度測定	1.選果後に学生が「おいしい」と思われる果実を選ぶ 2.学生が自らその糖度を調査する
3 温州ミカンの隔年交互結実栽培	極早生温州、早生温州、普通温州に導入
4 ブドウ栽培用雨よけプラスチックハウス新設	昨年度の収量は隔年交互結実栽培が可能栽培導入以前に比べ少なくなったが、翌年より増収傾向にあり果実品質も向上している 平成18年度実習教育改善経費により新設　学生農場実習の落葉果樹分野の充実を図る目的で本年度内に作付け予定
5 ブルーベリーのコンテナ養液栽培	平成20年度実習教育改善経費の予算化　学生農場実習の落葉果樹分野の充実を図る目的で本年度内に作付け予定 既存施設を利用してブルーベリーのコンテナ養液栽培に取り組む

唐湊果樹園全景



農学部附属農場「唐湊果樹園」は1916年（大正5年）7月に設置された果樹専門の施設である。大学キャンパスの西南部2Kmの傾斜地に位置しており、約7.3haの用地（耕作面積4ha）に常緑果樹、落葉果樹及び亜熱帯果樹（施設栽培）が栽培され、それらを対象とした実習教育と研究が行われている。

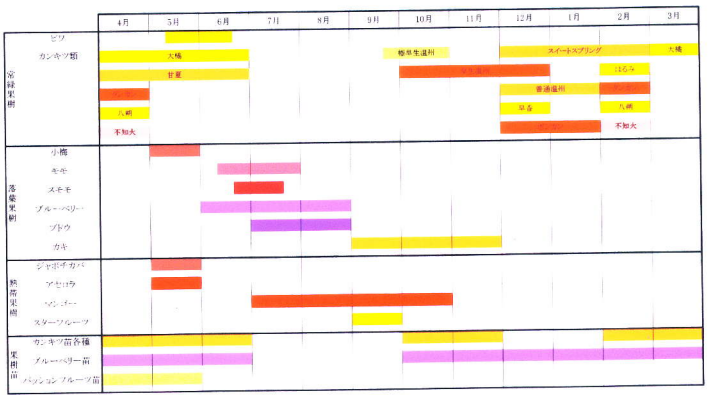
生産概況

第1表　果樹の栽培面積　　単位：a

露地栽培：			
ウンシュウミカン	80	カキ	25
ポンカン	18	ビワ	8
ブンタン	10	ブルーベリー	15
タンカン	7	モモ	8
不知火	8	スモモ	1
川野ナツダイダイ・スイートスプリング	8	施設栽培：	
ハッサク・早香・津之香	10	マンゴー	3
その他カンキツ	30	不知火等	2

特にカンキツ、ビワ、モモ、カキ、スモモ、ウメ、ブルーベリーなどの有用果樹類が豊富に維持されている。また、果樹の遺伝資源保存施設として常緑果樹2種類125品種・系統、落葉果樹11種類36品種・系統、熱帯・亜熱帯果樹9種類37品種・系統を有していて、実習教育だけでなく、学内外からの研究の場としても利用されている。

地域社会への貢献

内容	詳細		
1 生産物販売	多様な果樹を栽培することにより周年収穫が可能であり、中晩柑（不知火、ポンカン、大橋、甘夏等）の試食販売を組み合わせることで1年を通して生産物の供給が可能となっている。	農場4施設合同の販売開始	1月下旬　都元キャンパス内
		学内農場販売所	毎月第2、4週の水曜日12：30～13：30
		唐湊果樹園	毎月第1、3週の水曜日13：00～14：00
		インフォメーションセンター	
2 昆虫たちの生活をみる	鹿児島市立中郡小学校の6年	教科書に出てくる昆虫の実物を観察する。	
3 流域体験	市立中郡小学校2年生25名	果樹園の斜面「平核無」を食べる体験をし、『思い』ということを表現に表現した。その表現活方法も学習し、活動を実際に体験した。ミカン、ポンカンがあることを知るよい機会となった。	
4 ミカンのふるさと	教育学部附属幼稚園の園児66名	店頭に並ぶミカンが樹になっていることを学び、食べ物の有難さを理解させる。	
5 職場体験（勤労体験）学習	教育学部附属中学校3年生7名	11月6日から2日間職場体験を行う。 働くことの意義や勤労の尊さを実感し、最後まで確実に責任を果たすことの大切さを実感させることができたものと思われた。	

唐湊果樹園圃主生物販売カレンダー